

## 中野市環境審議会議事録

会議名	平成 29 年度 第 4 回中野市環境審議会			
日時	平成 29 年 12 月 22 日（金） 14:30～15:40			
場所	中野市市民会館 42 号会議室			
出席者	（審議会委員）			
	中村秀人会長	望月隆副会長	丸山正光委員	下川昌平委員
	鈴木富夫委員	小山むつ子委員	丸山久治委員	津金裕子委員
	山岸恒夫委員	金井哲雄委員	宮澤なおみ委員	福島芳枝委員
	（事務局）		（委託業者）	
	佐々木正くらしと文化部長		総合環境研究所 上原正人	
	竹前辰彦環境課長			
	小林登課長補佐兼環境係長			
	宮澤博之衛生係長			
	小林来世展副主幹			
坂本健太主事補				
欠席者	渡辺五男委員、竹内義明委員、中島正幸委員、山浦克人委員、高澤弘幸委員、川島幸子委員			
課長	（開会）			
会長	（会長あいさつ）			
部長	（部長あいさつ）			
会長	第 2 次中野市環境基本計画（素案）について審議していく。前回、諮問事項について事務局より説明の後、委員に審議してもらい、審議会後に改めて意見を募った。その後の質問・意見について、事務局より説明をお願いします。			
副主幹	前回の審議会以降に、書面による意見を 2 件いただきました。 （資料により意見に対する市の考え方を説明） （前回審議会等での意見を反映した素案の修正箇所について、資料により説明） 年の表記について、平成 31 年 5 月に新元号となりますが、市の統一的な見解が決まった時点で、西暦とするか元号と併記するかを決めたいと思います。			
会長	事務局からの説明について質問・意見をお願いします。 →意見等なし。 第 2 次中野市環境基本計画（素案）の承認の方法については挙手とする。 →採決 全員の賛成により素案は、原案のとおり了承された。続いて答申についてまとめていく。答申の内容について、事務局より説明をお願いします。			
課長	答申（案）、委員からの附帯意見について配布しますので、協議をお願いします。			
会長	答申（案）について、事務局から説明をお願いします。			
副主幹	（資料により答申（案）について説明）			
会長	答申（案）に対する質問・意見をお願いします。 →意見等なし 附帯意見について、事務局から説明をお願いします。			
副主幹	（資料により附帯意見について説明）			

会長	附帯意見に対する質問・意見をお願いします。
委員	p. 58 の進行管理の方法で、計画が順調に進行するように工程管理をして、目標を実現する。計画が 10 年間と長い期間を要するので、その間に社会状況、環境に対するニーズの変化等が考えられる。その時に今の計画がベストかは疑問がある。計画の状況については、環境白書として市民の皆さんに知らせることとなっている。環境白書の中で、計画に対して現状はどうか、またどのように評価をしたのかということを表せるようにし、市民の皆さんに状況を知ってもらい、めざす環境像を実現できるようにしてほしい。
会長	附帯意見に対する質問・意見をお願いします。 →意見等なし 附帯意見の扱いについて、答申書に記載するか協議をお願いします。
委員	チェックとしての環境白書であり、p. 2 計画の期間に「必要に応じて見直し」とあるが、10 年という期間を考えると記載したほうが良いのではないかと。
委員	附帯意見はどこに記載するのか。
課長	答申の文章の下に追記として記載します。
委員	答申に附帯意見が付くケースはどれくらいか。
部長	それほど多くはないと思います。
課長	記載せずに、答申する時に口頭で申し添える場合もあります。
委員	10 年間は長いので口頭では意味がない。10 年間でいろいろ変わる。現計画での環境白書では、計画に対する実現度がうまく表現できていないと感じているので、第 2 次計画では市民にわかりやすいように表現してほしい。禁煙、病原菌、放射能等の問題が数年でどのようになるかわからないので、文書で残しておいてほしいと感じている。
委員	附帯意見の内容については、素案に盛り込まれていると思うので、付け加えずにこのままの答申で良いのではないかと。
委員	付け加えることで、不都合があるのか。
委員	不都合はないが、これまで十分に慎重審議した中で素案ができていますので、あえて書く必要はないのではないかと。
委員	環境白書の中で PDCA のサイクルが回っていることがわかるような具体的なイメージがなく、これから作っていくものなので記載しておいた方が良くと思う。
会長	他に意見はあるか。どちらかに決めなければいけないので、採決を行いたいがどうか。
委員	もう少し考える時間がほしい。附帯意見の内容が、計画の進行管理の PDCA のサイクルに、このような場合は計画を見直しますということが入っていれば一番良いと思う。これから計画に盛り込めないのであれば、答申に記載し時間をかけて検討することにすれば良いのではないかと。素案では、どんなタイミングで見直すのかがない。フロンガスのように地球上で一斉に取り組まなければならない問題が発生した場合には、計画を見直さなければならないので、その方法が計画に記載されていることがベストだと思う。

会長	計画にこのような意見を盛り込むことはできないか。
課長	p. 58 の進行管理にどのようなタイミングで見直すのか、現段階では具体的な事例は書けませんので、環境白書の中で考えていきたいと思います。どのような状況の変化が起こるのかは想定できません。
部長	(PDCA サイクルについて説明)
委員	計画では、環境白書で市民に実施状況について報告することとなっている。うまく市民に知らせていくことは難しいが、それをやっていかないと基本計画を策定した意味がない。どのような考え方で、どのように実施していくかをこれから環境白書の中で検討していくことが必要ではないか。
委員	附帯意見を記載するかは委員の中で検討すればよいことで、委員と事務局が白熱した議論をすることは、審議会としてはよろしくないと思う。事務局が委員を説得する形ではなく、委員の中で議論し決めるべき。
委員	これまで議論をしてきて素案ができていますので、答申書にあえて記載する必要はないのではないかと。
会長	附帯意見を答申書に記載するかについて採決としたい。 → 記載に賛成7名、反対4名 記載に賛成が過半数となったので、記載することとする。
課長	答申(案)の修正に時間をいただきたいと思います。
	(暫時休憩)
会長	答申(案)について説明をお願いします。
副主幹	(答申(案)について説明)
会長	答申(案)に対する意見等をお願いします。
課長	文書の言い回しについては正・副会長と協議し、最終案としたいと思います。
会長	新たな答申(案)について、原案のとおり了承される方は挙手をお願いします。 → 挙手多数 挙手多数なので、答申書を原案のとおり了承する。文書をもう一度見直し、市長に答申する。
課長	その他について、事務局より今後の予定を説明します。
副主幹	了承いただいた内容で、後日市長に答申します。答申書の写しは委員に送付します。今後の計画策定スケジュールについて、答申いただいた素案に、条例、委員名簿、策定経過、用語解説等を記載した資料編を追加し、字体、表紙等、体裁を整え、市長決裁の後、製本します。来年3月に市ホームページに掲載し、委員には冊子を送付する予定です。
課長	質問等ございますか。
委員	環境審議会は原則公開となっているので、環境審議会の開催日について、ホームページで検索しやすいようにしてほしい。
課長	(閉会)

(以上)